



## ディボーション質問表

エペソ人への手紙、ピリピ人への手紙、コロサイ人への手紙、ピレモンへの手紙は、パウロがローマで獄中生活を送っている時（使徒 28：30～31 節）に書かれた為、獄中書簡と呼ばれています。

### 12日（月）コロサイ人への手紙 3：1～17 節

1. 1 節でキリストにある私たちがどのような者とされていると言われてますか？ その事実に基づいてどのような生き方をするようにパウロは勧めていますか（1～4 節）？
2. 「地上のものを思う」生き方と「天にあるものを思う」生き方についてどのような例が挙げられていますか（5～17 節）？
3. パウロはあなたを神に選ばれた者、愛された者だといっています。そのあなたに何を勧めていますか（12～17 節）？

### 13日（火）コロサイ人への手紙 3：18～4：1 節

1. 今日の箇所を「地上のものを思う」「天にあるものを思う」という生き方で区別しながら読んでみましょう。
2. 今日の箇所で教えられた事を自分の生活に適用してみましょう。

### 14日（水）コロサイ人への手紙 4：2～6 節

1. パウロはこの箇所で祈りについて二つの事を教えています。その内容はどのような事でしょうか（2～4 節）？
2. 今日の箇所も「天にあるものを思う」生き方についての説明です。3～4 章を読んで「天にあるものを思う」生き方についてのイメージに何か変化があったでしょうか？
3. 今日の箇所から、伝道における、神様の役割と人間の役割を考えてみましょう。

### 15日（木）コロサイ人への手紙 4：7～18 節

1. パウロの同労者からの挨拶（7～14 節）が書かれています。この箇所に出てくる人々について心に留まる人はいるでしょうか？
2. パウロ自身の挨拶（15～18 節）を読んで、心に留まった言葉はあるでしょうか？ 今日の箇所を通して目に留まった人物、言葉を思い巡らしてみませんか？

### 16日（金）ピレモンへの手紙 1：1～25 節

1. この手紙の中で、著者についてどのようなことがわかりますか？  
（誰がこの手紙を書いたのでしょうか。著者の置かれていた状況。著者がこの手紙を書こうと思った理由。）
2. この手紙の中で、受取人についてどのようなことがわかりますか？  
（受取人は誰でしょうか。受取人の置かれていた状況。受取人と著者との関係。受取人の抱えていた問題。）

### 17日（土）ピレモンへの手紙 1：1～25 節

1. この手紙の中で、繰り返し出てくる言葉は何かあったでしょうか？ その言葉はその章全体の内容とどのような関係があるでしょうか？
2. この手紙を内容を元に分類してみましょう。そして大見出し、小見出しをつけてみましょう。
3. この手紙の内容を通して、教えられた事をどのように自分の生活に適用出来るか考えてみましょう。

**\*今週の箇所から3日以内に始められ、具体的、実現可能で計測することができる計画を聞いてみましょう。**